

たいとうまる
泰東丸

たいとうまる せんじひょうじゅんかもつせん ぶっし
泰東丸は戦時 標準貨物船(*21)として、物資の
ゆそう あきた こめ つ お
輸送にあたっていました。秋田から米を積み、小
たるこう む こうこううちゅう しゅうせん ほう う ぐんぶ
樽港へ向けて航行中に終戦の報を受け、軍部の
し じ からふとおおどまりこう む ひ あ しゃ
指示により樺太大泊港に向かいました。

おおどまりこう あつ ひ あ しゃ
8月21日、大泊港に集まっていた引き揚げ者
にん の よる おおどまりこう しゅっこう
780人を乗せると、夜11時に大泊港を出港しま
した。これ以降日本人の引き揚げ船はソ連軍によ
って、許可されなかつたので最後の引き揚げ船と
なりました。

せんそう こめ つ こ
船倉には米をいっぱい積み込んでいたため、
かんばん は ひ あ しゃ あめ ふ
甲板の上にテントを張り、引き揚げ者は雨の降る
なかよる す よる あ あめ あ
中夜を過ごしました。夜が明けるとともに雨も上

* 21 戦時標準貨物船

戦争中の海上輸送力増強のため、構造を簡略化し大量建造された貨物船

がり、右手に北海道の陸地を見ながら、泰東丸は
8ノット(*22)の速度で航海を続けていました。

午前9時を過ぎたあたり、船の周りにリュック
や水筒、荷物、木片などの浮遊物が漂っているの
が確認できました。そしてその中には死体もあつ
たのです。甲板の引き揚げ者たちも不安げに海面
を眺めています。船長は船を更に陸よりに進路を
とり、進んでいきました。進路の左方向には、く
つきりと鬼鹿の海岸線の民家の屋根が見えていま
す。

「クジラみたいなものが浮いてきた。」と操舵
員(*23)が叫びました。浮かんできたのは真っ黒な
潜水艦です。浮上した潜水艦のハッチ(*24)から2
人の兵士が飛び出してきて大砲を泰東丸に向け

* 22 ノット

速さの単位で、1時間に1海里(1.852km)進む速さ

* 23 操舵員

船の舵を操作して、一定の方向に進ませる人

* 24 ハッチ

潜水艦などの出入り口

はっしや ごうおん せんしゅ おお みずばしら
発射しました。轟音とともに船首に大きな水柱が
あ つづ なんぽん みずばしら あ
上がり、続いて何本かの水柱が上がりました。

せんちょう いかくしやげき おも りんけん
船長はこれは威嚇射撃(*25)だなと思い、臨検
(*26)は避けられないと考え、船を停止させまし

た。そして抵抗の意思のないことを伝えようと

しょくどう つか しろはた つく せんすいかん
食堂のテーブルクロスを使って白旗を作り潜水艦
む ふ
に向かって振りました。

せんすいかん たいとうまる しんろ しょうめん まわ
潜水艦は泰東丸の進路をふさぐように正面に回
ふたた たいほう はっしや ほうだん せんぶく あ
り、再び大砲が発射されました。砲弾は船腹に当
たり、船の機関は停止してしまいました。この無
ていこう ふね たい たいほう きじゅう はっしや つづ かんばん
抵抗の船に対して大砲や機銃を発射し続け、甲板
じょう ひ あ しゃ ようしゃ こうげき つづ
上の引き揚げ者に容赦なく攻撃を続けたのです。

じごくえず
地獄絵図(*27)でした。

* 25 威嚇射撃

実際の攻撃ではなく、それに似た姿や様子を見せることで対象を脅かすための射撃

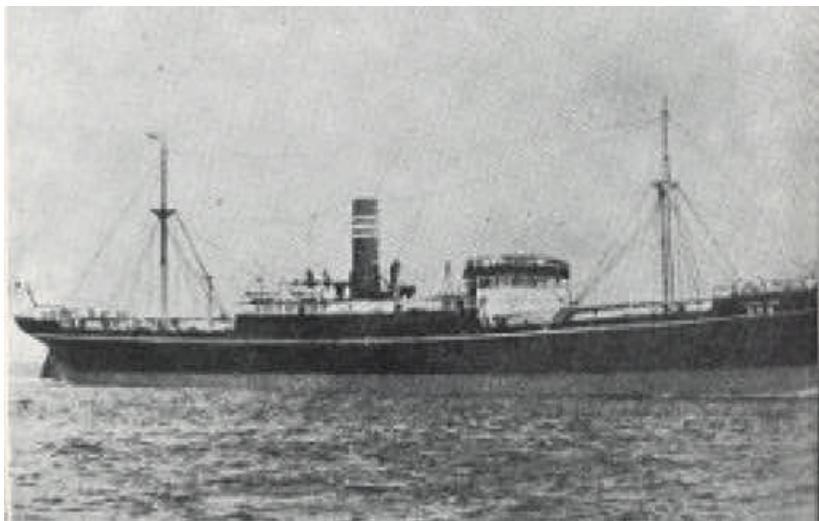
* 26 臨検

その場所に出向いてとりしらべること

* 27 地獄絵図

きわめてむごたらしい状況になること

やがて、船は沈んでいき、死亡者 667 人が
犠牲になりました。生存者は 113 人といわれて
います。



戦時標準貨物船同型船 (887トン)

せいぞんしゃ きゅうじょ この生存者の救助にあたったのは、このすぐ後あと
かいいき つうか かいぐんとくせつふせつかん こうえいまる この海域を通過した海軍特設敷設艦(*28) 高栄丸

(6, 774トン) と海軍敷設艦 石崎 (720
トン) です。

せき しゅうせん そう やかいきょう きらい ふせつ この2隻は終戦まで宗谷海峡で機雷の敷設の
にんむ すいこう ぎょくおんほうそう わっか 任務を遂行していました。15日の玉音放送は稚
ないこう き からふと ひ あ 内港で聞きました。その後、樺太からの引き揚げ
しゃ ゆそう よこすか かいこう 者の輸送にあたり、21日に「横須賀(*29)に回航
べいぐん せっしゅう おう めいれい う し、米軍の接収に応じよ」という命令を受けて、
あさ のりくみいん にん の わつかない しゅっこう 22日朝、乗組員300人を乗せて稚内を出港し
ました。

ご ご じ ころおにしかおき つうか なみま ただよ 午後2時頃鬼鹿沖を通過するときに、波間に漂
ひ まる ふ きゅうじょ ま おお ひと はつけん いながら日の丸を振り救助を待つ多くの人を発見
やく じかん めい きゅうじょ し、約3時間がかりで123名を救助しました。

* 28 敷設艦

機雷を海中に敷設するための海軍艦艇

* 29 横須賀

神奈川県横須賀市 海軍の軍港

しかし、そのとき高栄丸の水中聴音機(*30)は
潜水艦のスクリュー音をとらえていました。艦を
とめて救助に専念すると敵潜水艦の魚雷攻撃をか
わすことはできなくなります。それでも艦長は
短艇(*31)を下ろして救助することを選択しま
す。その間、石崎を高速であたりを走らせ、
潜水艦が浮上する隙を与えないようにしました。
また、いつでも戦闘状態になれるよう乗務員は
緊張しながら救助を見守ったのです。
救助を終えた高栄丸と石崎は積丹半島の神威
岬をめざし航海を続けましたが、午後5時頃船の
ソナーが潜水艦2隻の海面浮上をとらえました。
このため、小樽港に入港するように見せかけて
石狩湾に向かい、岸から500メートルのほど

* 30 水中聴音機

音波が水中を伝わる性質を利用し、目標を音によって検索・
探知する装置

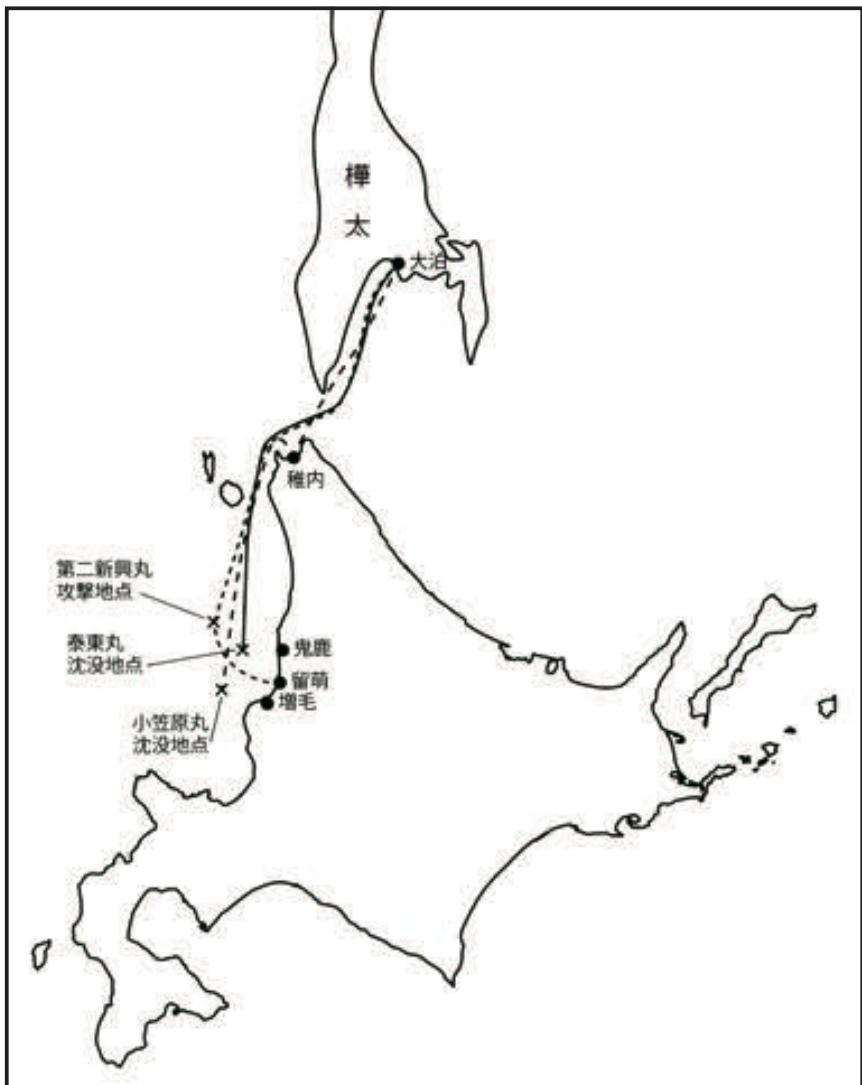
* 31 短艇

小舟、ボート

こうろ　おと　た
航路を音を立てないようにゆっくりと航行し、
せんすいかん　み　こうかいとう　け　すす
潜水艦に見つからないように航海灯も消して進み
ました。23日の未明に無事に神威岬を通過し、
せんすいかん　ついせき　のが
潜水艦の追跡を逃れました。

せん　めい 船　名	おがさわらまる 小笠原丸	だい　ごうしんこうまる 第二号新興丸	たいとうまる 泰東丸
せん　しゅ 船　種	かいてい　でんらん　ふせん 海底電纜敷設船	とくせつ　はうかん　けんふ　せつかん 特設砲艦兼敷設船	せんじ　ひょうじゅん　かもせん 戦時標準貨物船
せん　ちょう 船　長	えびす　やすし 蛭子 康	かやばま　つじろう 萱場松次郎	ぬくいけいじ 貫井慶二
のりくみいん 乗組員	86名	51名	
せん　ちょう 全　長	74. 1m	90. 8m	
せん　ぶく 全　幅	6. 8m	13. 72m	
そう　すう 総トン数	1,456トン	2,577トン	887トン
び　こう 備　考	がつ　ほっかい　どうからふと 6月から北海道と樺太 かん　ふせつ　じゅう 間のケーブル敷設に従 じ 事。 たい　まう　こう　き　ふね　か 大鵬幸喜はこの船で樺 らふと　ひ　あ　わつかない 太から引き揚げ、稚内 げせん　なん　まぬが で下船し難を免れる。	おおみな　とけい　ふ　ぶたい　ちしま 大湊警備府部隊の千島 ほうめん　とくべつ　こんき　よち　たい　ぞく 方面特別根拠地隊に属 せんだん　ごえい　しょう　かい し、船団護衛や哨戒に じゅうじ 従事。 そうや　かい　きょう　たい　せん　きらい 宗谷海峡への対潜機雷 せきこうちく　さんか 堰構築に参加。	あきた　こめ　つ　おたる 秋田から米を積み小樽 こう　む 港に向かっていたが、 しゅうせん　ほう　う　ぐんぶ 終戦の報を受け軍部の し　じ　からふとおおどまりう 指示により樺太大泊港 にゆうこうちへんこう に入港地変更。

ぎせい 犠牲になった三船の概要



さんせん こうせき
三船の航跡